

慶応大学医学部出身 医学博士

大西信彦 博士

GLコートを解析



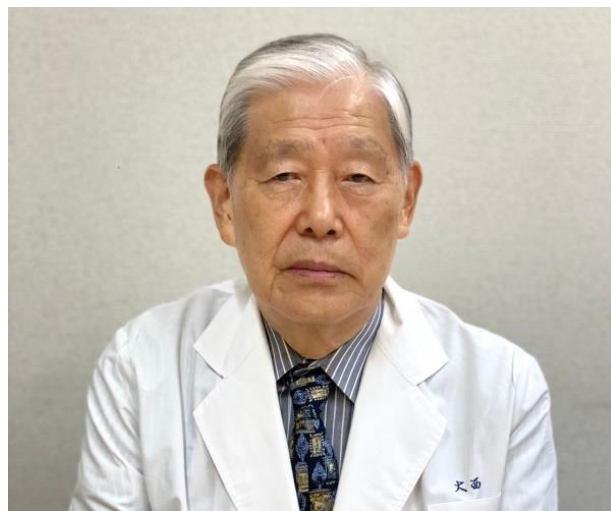
殺菌効果を触媒反応は、チタン膜効果を触媒反応は、チタン膜に当てることで電子が放出され、大気中の酸素と反応し、活性酸素を作り出す還元反応と空気中の水分と反応する酸化反応により、水酸化ラジカルが発生して有害物質を酸化分解し二酸化炭素や水にして無害化する。

光触媒反応は光触媒コーティング面に光を当て、ヒドロキシラジカルや、スーパーオキサイドアニオンと言った殺菌活性酸素を発生させて利用するもので、チタン膜面に付着した細菌やウイルスに作用するものです。そして紫外線や蛍光灯の光を当てることで殺菌反応が進む。

株式会社グッドライフが開発した、銀を触媒に利用するハイブリッド光触媒 GL コートは、暗闇でも殺菌効果を示す画期的な触媒商品です、殺菌メカニズムはラジカルによる殺菌で、電子還元種のスーパーオキサイドアニオンや過酸化水素由来のミエロペルオキシダーゼによる活性酸素殺菌です。銀はアクセサリーや銀貨に使われ、人体に無害な貴金属です。これをベースにした、ナノシルバーコロイド TSSC (ナノ銀) と言う物質を、水溶性殺菌材として新開発したものです。従来のは反応膜面上に付着した病原菌、ウイルス、カビ等を殺菌する方法です、**ナノ銀は空気中に数時間飛沫浮遊しているコロナウイルス(インフルエンザウイルス、新型コロナウイルス)を不活化することができる。このように非付着病原菌に**

も、ハイブリッド光触媒 GL コートは殺菌効果がある。

ビルやマンションの壁、収納戸棚内、水周り、特に使用後の夜間の風呂やシンクは、カビや病原菌の絶好の増殖現場になります、消灯後でも殺菌効果が期待出来る商品は類を見ない、不特定多数の人が集まる病院、福祉施設、食品加工施設の衛生管理は、重要な検査業務ですが、これと言った衛生面の除菌方法がなく、新型コロナウイルスに濃厚接触感染していても自然免疫力が強く無症状の保菌者が出入りすることで、パンデミックが何時どこで発生するかわからない。時に病院の医療スタッフが感染して、2~3 週間閉鎖する病院が大都会を中心に多発した。現実には信頼できる汚染防止対策がないのが現状です、ハイブリッド光触媒 GL コートを壁面や床に噴霧しておけば、24 時間殺菌効果が期待出来る。新型コロナウイルスに汚染された外出先から帰宅した靴底のウイルスは、下駄箱にすんなり収まり感染機会を待っている、下駄箱や玄関にもナノ銀をスプレーすることで、感染予防対策の落とし穴を埋めることができる、ペット臭・生ゴミ臭・トイレ臭・タバコ臭・ソファの汗臭等も吸着消臭する。建材のホルムアルデヒド臭や化学薬品臭も吸着消臭する。食中毒原因菌の、病原性大腸 O-157、黄色ブドウ球菌、サルモネラ菌、キヤンピロバクター、腸炎ビブリオ、ノロウイルス等の感染予防、人畜共通染病、例えば猫エイズ、オウムの Q 熱等は専門家の見解で人には感染しないと言う、しかしどうでしょう？新型コロナウイルスはコウモリ由来とも、過去にはヨーロッパで家ネズミがペストでばたばた死亡、寄生場所を無くしたノミが人に寄生、ネズミから人にペスト感染させ、遂にヨーロッパの人口の三割が死亡、黒死病と呼ばれ日本でも明治から大正にかけ、たくさんの方が亡くなった、鳥インフルエンザ、猿エイズが人エイズに進展したものではないでしょうか、人畜無害、光の当たらない夜間でも、殺菌持続効果の期待出来るハイブリッド光触媒 GL コートの利用範囲は極めて広い。



医学博士 大西信彦